

情報開示特集(保育・高齢・障がい)
 平成30年度=研修報告/地域貢献事業報告/事業報告/決算報告
 令和元年度=研修計画/事業計画/資金収支予算(4面~10面掲載)

巻頭言 / 子ども、高齢者、障がい者と住民が
 支え合う地域共生社会実現へお手伝い ——— 2

新たに「障がい児相談支援事業」スタート—ココリス ——— 3

被災乗り越え6月から子育て支援再開 千里丘愛育園 ——— 3

ベトナム人留学生アルバイト4名、介護福祉士養成校に進学 ——— 3

“人財育成”の現場リーダーを育てる 保育基礎研修 ——— 4

公開保育—地域性生かし多文化共生保育 東生野愛育園 ——— 4

基礎技術から健康・医療までステップアップ ファーストステージ研修 ——— 5

京舞妓さんの人材育成は! 5法人合同研修会 ——— 5

先輩からのメッセージ(千里丘愛育園/吹田竜ヶ池ホーム) ——— 4~5

「あんふあんクラブ」で“出張子育て”支援 認定こども園—津屋愛育園 ——— 6

「介護」をテーマに訪問授業 岩戸ホーム ——— 7

回想法—ゼミ生がきりんデイサービスビスセンターで体験学習 ——— 7

はにわキッチン—子どもの居場所-学生ボランティアも協力 高槻けやきの郷 ——— 11

求職者に「介護の仕事」の魅力発信—PR隊の吹田竜ヶ池ホームスタッフ ——— 11

トピックス ——— 12

**プロバスケットの
今野選手(エヴェッサ所属)がボランティア
せつつ桜苑で高齢者入浴後の整容など**



プロバスケットボールBリーグ、大阪エヴェッサ所属で摂津市出身の今野翔太選手がせつつ桜苑で5月7日、15日、21日の3日間、ボランティア活動をされました。ご利用者との会話も自然体で、入浴後の整容(整髪や身だしなみを整える)もお手伝い。優しく接する今野選手に大喜びのご利用者の「また来てな」の声にも、スポーツマンらしい爽やかな笑顔で応えられていました。

同選手は幼少時から“おいしいちゃん・おばあちゃん子”で「恩返しに高齢者の役に立ちたい」と小学校の恩師に相談、摂津市社会福祉協議会からせつつ桜苑を紹介されたそうです。今野選手の健闘を祈ります。

**大接戦のすえ、京都チームに理事長杯
大阪チームとのソフト対抗戦を制す**

成光苑ソフトボールチームの京都チームと大阪チームは3月24日、大江山グリーンロッジグラウンド(福知山市)で理事長杯をかけた対抗戦を行い、延長にもつれ込む大接戦のすえ京都チームが8対7で逆転勝利しました。

試合当日、春の雪に見舞われる悪天候でしたが、両チーム協力してグラウンド整備。ゲーム序盤は大阪チームの優勢で展開しましたが、最後に京都チームの執念が実り理事長杯をもぎ取りました。



**新鮮野菜にご利用者のはじける笑顔
鳥飼ナスやピーマン栽培**

ココリスでは施設に隣接する庭の一部を畑に転用しました。「鳥飼地区」で、昨年末から大阪の伝統野菜「鳥飼ナス」やキュウリ、ピーマン、トマト、ゴーヤなどを無農薬で栽培。成長も順調で、ご利用者と一緒に毎日収穫しています。採れたての新鮮野菜を手にと多くの笑顔が見られます。

これまでは借地で利便性に欠け気候の変化や害虫などの心配もあったのですが、新しい畑はバリアフリーで農作業や成長観察をいつでも行えるようになり、施設内からも畑を眺めることができます。



**長縄跳び90秒間に97回跳び続け準優勝
北摂ブロック運動会で第二愛育園**

北摂エリアの成光苑愛育園5ヶ園は5月26日、万博記念公園運動広場で行われた第40回北摂ブロック保育部会運動会(大阪府社会福祉協議会主催)に参加、第二愛育園が長縄跳び(団体競技の部)で90秒間に97回、ミスなく跳び続け惜しくも1回の差で準優勝となりました。

北摂エリアから800名以上の保育スタッフが参加する大運動会ですが、第二愛育園の健闘はチームワークの賜物。その団結力を保育活動に生かしていきたいものです。



- 〔法人理念〕**
 1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
 2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
 3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。
- 〔サービス目標〕**
 1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
 2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。
- 〔老人施設経営方針〕**
 1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
 2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
 3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。
- 〔愛育園経営方針〕**
 1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
 2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
 3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2019年8月
 【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)
 〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
 TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
 URL. <http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/>

★「ききょう」の由来
 創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。



巻頭言



子ども、高齢者、障がい者と住民が
支え合う地域共生社会実現へお手伝いを

理事長 高岡 國士

令和元年の画期の年にあたり、社会福祉法人
成光苑の事業推進に日ごろから多大なご協力
とお力添えを賜っております皆様、心より感
謝とお礼のごあいさつを申し上げます。

超長寿国日本はさらに人口減少社会へ

第25回参議院通常選挙が7月21日に投票開票
されましたが、今回の選挙戦では、年金を含む
社会保障制度のあり方が大きな争点の一つとな
りました。

世界の中で最も早いスピードで高齢化が進
み、超長寿国としての日本は将来的には人口減
少社会へと変わりつつあり、子育てしやすい環
境ではないとの風潮が少子化をさらに加速す
るといわれる不安もあります。

国は子育て、介護など現役世代が直面する
不安解消のため、消費税引き上げによる財源
を投入し、わが国の社会保障制度を全世代型
へと大きく転換させようとしています。

消費税率の引き上げ(8%→10%)による増
収分は、子育て世代への投資拡充策にあて幼児
教育の無償化を進めています。一方で、国は本
年10月、「介護職員等特定処遇加算」の運用
を認める運びとなりましたが、最大の課題であ
る介護人材の確保と介護離職ゼロに向け、処

遇改善をさらに進める必要があります。

ダブルケア問題が就労阻害に
つながらないよう支え手に

財務省の諮問機関である「財政制度等審議
会」が6月19日、「令和時代の財政の在り方に
関する建議」を財務大臣に提出しています。建
議の中で、社会保障については「伸びの抑制や負
担の見直しに取り組むことが不可欠」と指摘、
「社会保障関係費の増加を高齢化による増加
分に相当する伸びにおさめる方針を維持す
る」考えを示しました。私は中長期的に、全体
として支え手の減少が見込まれる中、社会全
体の活力を保つために、意欲のある高齢者女
性障がい者の就労を促進されることは大事と
考えます。しかしながら、介護離職問題や介護
と育児を一人が担うダブルケア問題に象徴され
るように、その方々の就労が阻害されないよう、
支え手の支え手が必要であり、その担い手と
して社会福祉法人が複雑多様化する福祉ニ
ズに対応すべきと考えます。つまり、地域共生
社会の実現として、子ども・高齢者障がい者な
ど全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共につ
くり、高め合うことができる社会の中で、支え
手側と受け手側に分かれるのではなく、地域の

あらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、
自分らしく活躍できるコミュニティを育成してい
くお手伝いを、社会福祉法人が担うべきである
と考えます。

介護機能の多様化で総合的サービス提供

成光苑では、社会福祉法人による地域への社
会貢献が第一との認識のもと、国などの動きに
も留意しながら、介護職や保育士の処遇改善
を講じるなど人材確保・育成・定着対策を図
り、介護サービスや保育内容の質の維持・向上
に努めているところであります。

つまり、介護機能の多様化を図ることでご利
用者に対する総合的なサービスを提供したり、
地域子育て支援を積極的に行うことで、女性
が安心して子どもを育て、その成長を喜ぶ社会
の実現に引き続き寄与してまいります。

今後は、これまでの社会貢献の取り組み、い
わゆる「地域における公益的な取り組み」につ
いても、社会福祉法人としての役割と責務を積
極的に果たすことで、地域のご利用者、ご家族
や地域の社会福祉関係者をはじめとする皆様
の信頼をさらに高められるよう精進してまいり
ますので、今後とも変わらぬご支援をいただき
ますようよろしくお願い申し上げます。

子どもの居場所―料理し食べ会話がはずむ

スタッフや地域住民と交流・学生ボランティアも協力



高槻けやきの郷

「子ども食堂」をご存じですか。高槻けやきの郷では
今年4月から「子ども食堂」、名付けて「はにわキッチン
@けやきの郷」をオープンしました。毎月第1日曜日の11
時から～15時まで。

「はにわキッチン」は「子ども食堂」にイメージがちな
貧困支援(貧困家庭や子どもの孤食など)ではありません。
子どもの居場所を作り、高槻けやきの郷のスタッフを含
めた地域住民との交流の場、誰かとつながる、そ
ういう場所として提供しています。同施設スタッフ以外
にも大学生ボランティア団体が賛同し運営に協力してく
れることになりました。

「子どもたちの食べたいお昼ご飯と一緒に料理し、食
べながら会話や悩みごとの相談をする相手が、身
近な家族や先生、友だち以外にいてもよいのでは
ないか」という中島康博施設長の地域活性化への
思いから実施に踏み切りました。子どもたちは優
いお兄ちゃん、お姉ちゃん
的な存在として学生らを慕っており、食事や遊び、宿
題のお手伝いを通じて微笑ましい光景が広がるよう
なってきました。



「はにわキッチン」は地域貢献の新しい
試みの一つ、模索しながらの運営で
すが、毎回子どもたちの元気な
声が響き渡り、新たな地域
連携スタイルといえると思
っています。

自治会と連携地域の
広場にベンチを設置

くるみ小規模保育園

くるみ小規模保育園は水路埋め立て
の名残のある「通路状の空き地」に隣
接、地域では通称「ながぼそ公園」と呼
ばれています。自治会長の提案を受け同
園ではその場所を「ながぼそ広場」と名
付け「小さなベンチ」を設置しました。地
域の子どもと高齢者の触れ合いの場、憩
いの場となってほしいという願いをこめ
たいわば「憩いのベンチ」です。

数年前までその場所に遊具も若干設
置され、子どもたちの遊び場にもなっ
てい

ましたが老朽化で撤去。その後は雑草が
増えるまま。同園のスタッフが自治会と合
同で定期的に清掃活動を行っていますが、
今年3月の清掃活動中に地域活性化が
話題となり、「何もなければ素通りや。
ベンチでもあれば…近所の誰かが通
りか利用するかもわからん」と自治会
長。この地域も過疎化が進む一方、高
齢者が多く生活されています。地域の方
に子どもたちが元気に遊ぶ姿を見て
もらう機会や交流の場になり、「小
さなベンチ」での出会いが地域を
活気づけるきっかけになればと思
っています。

憩いの
ベンチ

求職者に「介護の仕事」の魅力発信

吹田竜ヶ池ホームの黄賀健介介護スタ
ッフは、吹田市福祉部高齢福祉室からの要請
で7月12日、ハローワーク淀川ホール(大阪
淀川区)で行われた「介護の仕事 魅力発
信セミナー」(吹田市、ハローワーク淀川共
催)で講演約40名の求職者が参加されま
した。

黄賀スタッフは介護の魅力について「自
分のやりがいが見つかる」と指摘。参加者から
「体力にあまり自信がない私にもできま
すか」と問われ、「見てのとおり、私も細身で
すが大丈夫」と同スタッフがユーモアを交
えて答えるなど和やかな場面もみられま
した。同スタッフは「つい熱く語ってしまっ
たようですが、同行した同施設の佐藤裕之施設
長は「しっかりと応答に頼もしさを感じ
た」と語られています。
黄賀スタッフは大阪府、大阪府社会福祉
協議会など合同の「介護の魅力発信プロ
ジェクト」PR隊のメンバーとして登録。介
護の魅力を発信できる「発信部隊」の増員が
目的です。

認定こども園
正雀愛育園の富永園長
認定こども園正雀愛育園は、摂津
地区人権推進企業連絡会(事務局:摂津市
市民生活部産業振興課)の会員事業所とな
っていますが、富永久美子園長が6月3日、
同連絡会が進めている就職差別撤廃街
頭啓発活動に参加しました。今回で
5回目。同園では「人権を大切に
した保育」を心がけており、今の時代に
相応しい取り組みの一つと考えていま
す。

同連絡会の啓発活動は人権意識を高
め、就職の機会均等、差別のない職場環
境づくりを訴えるのが狙い。今年
は阪急摂津市駅前(同日夕)で行われ、
富永園長は「私たちは採用時に家族の
ことは聞きません」「しない、させ
ない、就職差別!」のスローガンを入
った絆創膏付きのティッシュを配布
しました。そのあとの懇親会では、
摂津市職員や企業オーナーから「
職員や社員など部下を育成する難
しさ」について聞く機会があり有意
義な交流となりました。

「自分のやりがいが見つかる」

吹田竜ヶ池ホームの黄賀健介介護スタ
ッフは、吹田市福祉部高齢福祉室からの要請
で7月12日、ハローワーク淀川ホール(大阪
淀川区)で行われた「介護の仕事 魅力発
信セミナー」(吹田市、ハローワーク淀川共
催)で講演約40名の求職者が参加されま
した。



就職差別撤廃の街頭啓発活動に参加



平成30年度 決算報告

【事業活動収支計算書】

Table with columns: 勘定科目, 本部, 保育園, 高齢者施設, 公益事業, 内部消去, 合計. Rows include 事業活動収支, 事業活動資金収支差額, 施設整備等収支, etc.

(保育園は認定こども園を含む) (高齢者施設は障害を含む)

【資金収支計算書】

Table with columns: 勘定科目, 本部, 保育園, 高齢者施設, 公益事業, 内部消去, 合計. Rows include 事業活動収支, 事業活動資金収支差額, 施設整備等収支, etc.

(保育園は認定こども園を含む) (高齢者施設は障害を含む)

【貸借対照表】 成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業) 平成31年3月31日現在

Table with columns: 勘定科目, 金額. Rows include 流動資産, 固定資産, 純資産の部, 資産合計.

成光苑事業区分

- 社会福祉事業 (本部) 本部、地域貢献事業 (保育事業) 千里丘愛育園、第二愛育園、正雀愛育園、一津屋愛育園... ●公益事業 高優賃 竜ヶ池ハウス、サ高住 けやきの郷、岩戸診療所...

令和元年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

Table with columns: 勘定科目, 本部, 保育園, 高齢者施設, 公益事業, 内部消去, 合計. Rows include 事業活動収支, 事業活動資金収支差額, 施設整備等収支, etc.

(保育園は認定こども園を含む) (高齢者施設は障害を含む)

新たに「障がい児相談支援事業」始まる

相談やサービスへの対応スピードアップ

コリス(障がい福祉サービス)は4月から「障がい児相談支援」を新たな事業に追加し、相談支援専門員と臨床心理士が専門職として加わりました。同施設が今年度から指定事業所として扱われる。相談やサービスへの対応スピードが速くなり、地域の障がい福祉サービスの質向上にもつながると期待が高まっています。

外国人雇用 (留学生、技能実習生)

外国人雇用 (留学生、技能実習生) ベトナム人技能実習生2名受け入れ 岩戸ホーム(福知山市)はベトナム人技能実習生(第1期生)のピックさん、トゥエットさんの2名を受け入れました。ベトナムの送り出し機関で日本語と介護の基礎を学び、受け入れ窓口の監視団体で1ヵ月間の研修を経て同施設で技能実習がスタート。6月14日には同施設すずらんホールで歓迎セレモニーが行われ、お二人は学んでこられた日本語で実習期間3年間の意気込みを伝えられました。

フィリピンの技能実習生送り出し機関を視察 ライフ・ステージ 舞夢が受け入れ準備

フィリピンの技能実習生送り出し機関を視察 ライフ・ステージ 舞夢の上野由香子施設長と山本幸一郎事業部長は4月末からフィリピン・マニラ市の技能実習生送り出し機関などを視察しました。技能実習生受け入れを目的とする事前視察で、現地では送り出し機関4社の関係者と会談、日本語や介護職の教育訓練施設の視察を行い、日本の外国人技能実習生制度に対するフィリピンの反応、現況を確認されました。

被災乗り越え6月から子育て支援再開 園舎の屋根張替え、支援室内装など改修

親子の交流拠点・千里丘愛育園



地域の子育て親子支援拠点になっている千里丘愛育園は、昨秋の台風21号(9月4日)による被災を乗り越え、6月から子育て支援室での「地域子育て支援拠点事業」を再開しました。令和子育て元年のスタートです。

台風21号は25年ぶりに「非常に強い」勢力で日本に上陸、近畿地方を中心に甚大な被害を受けましたが、同園でも園舎の屋根が広範囲にめくれ上がり(写真上)、子育て支援室(4階)の天井や壁から雨水が流れ落ち(写真下)、保育室(3階)まで影響が出ました。

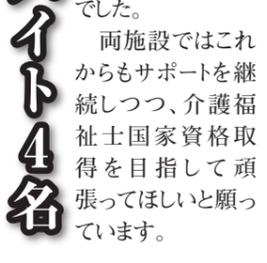
「再開はいつ頃から?」のご要望により、工業者による応急処置を施しましたが、降雨の際の雨漏り防止が難しいため、園舎周囲に足場を組み本格的な改修繕工事に着手、破損箇所を撤去、保育室内装工事、園舎の屋根張替え、さらに子育て支援室の内装工事を進め、5月下旬、復旧にこぎつけたものです。



介護福祉士養成校に進学

吹田竜ヶ池ホーム・せつつ桜苑

吹田竜ヶ池ホームとせつつ桜苑がアルバイトとして雇用しているベトナム人留学生第1期生各2名、計4名が4月から大阪市内の介護福祉士養成校(3年間)に進学しました。進学した第1期生は6月から施設実習を高齢者施設で実施、「勉強が好きだから楽しいです。アルバイトで教えてもらっているのが緊張しません」と頼もしい言葉も聞かれました。アルバイト入社から1年半が経過し、業務日誌もしっかりした文章表現ができるようになり努力の跡がみられます。



保育基礎研修

“人財育成”の現場リーダーを育てる 新人・5年目までの保育スタッフ対象



保育部門では4月20日、愛育会館で新規採用者と5年目までの保育スタッフ計24名を対象に保育基礎研修が実施されました。例年、主任・主幹が講師を務めていますが、今年度は現場で、人財育成の中心となるリーダーの養成を目的に、副主任・副主任がサポーターとして加わりました。研修は保育スタッフとしての基本的な心得や知識、子どもの人権やアレルギー対応、保育の書類の書き方、また電話

対応や心肺蘇生法など実践的な内容。緊張気味の受講者もグループワークで意見交換する雰囲気の中で打ち解け、受講者と講師がともに学びあう機会となりました。「電話対応について助言してもらい（写真）、今後にかきたい」といった新人スタッフの声や経験者から「1年目の受講の保育を振り返る機会となった」との声も寄せられ、基礎研修の重要さが再確認されたようです。8月

にアンケートを実施し研修成果をフォローしていくことにしています。次年度の「保育基礎研修」は今回の経験を踏まえ、副主任・副主任が中心となって実施する予定。成光苑保育部門では、キャリアアップ制度も導入し、それぞれの階層がステップアップできる人財育成、ともに学び合う風土づくりに力を入れ、よりよい保育の提供と質の向上に努めています。

東生野愛育園

地域性生かし多文化共生保育
お国の歌や手遊びで理解深める

東生野愛育園は6月18日、「多文化共生保育」をテーマに公開保育を行い、姉妹園の保育スタッフと法人本部から23名が参加しました。同園は大阪市生野区にあり、60ヶ国以上の国籍の方が生活し、園児も日本、韓国、中国、ベトナムと様々な文化の子どもたちがいます。公開保育ではクラスごとの多文化の遊びを行い、0歳児は「2歳児は「きらきら星」を韓国語や中国語で歌い、手遊びを韓国語や中国語に訳して遊び、日本の「でんでん太鼓」と韓国の楽器「ソゴ」の両面をバチでたたく太鼓」を制作して楽器遊びも（写真）。3歳児は5歳児は、自分たちが考えた国旗を描いたり、国旗のパズルを作りました。姉妹園の保育スタッフもゲームやクイズに参加し多文化に触れてもらえるよい機会になりました。

日常の保育生活でも子どもたちが多文化に触れられるような様々な国旗や民族衣装のポスターを掲示、お互いの理解を深め日本語の言語コミュニケーションが難しい子どもやその保護者の支援を行うことを事業計画に示しています。



石原 広康
千里丘愛育園
2019年度入社

先輩からのメッセージ

子どもの自己主張や自立心に日々感動

先輩に支えられ私自身も成長したい

千里丘愛育園で保育実習をしたことがきっかけで、今年の4月に入社、2歳児クラスを担当しています。まだ数ヶ月ですが、子どもたちの「自分がする、やりたい」といった自己主張や自立心が感じられるようになり、その成長に日々感動しています。

当園では立腰、漢字・英語・体育遊び、スイミングなど子どもの可能性を引き出す様々な保育を行っていることも特徴です。先輩のみなさんに支えられ、私自身も子どもたちとともに成長していきたいと思っています。

令和元年度研修計画（保育）

キャリアパスをイメージし、階層別に対象者を設定した法人研修を設定。新任スタッフ、次世代を担うスタッフの育成を重点項目とし、法人本部が部下指導研修を企画し内容の見直しを行うとともに、保育基礎研修では、新たに副主任・副主任も加わって実施する。また、障がい児研修については、ココリスと連携し、障がい児の個々の特性に応じた対応ができるよう、講義形式ではなく、実践的な形で実施する。

研修名	対象者・回数	内 容
愛育園合同研修会	全スタッフ/年1回 (新規採用者含む)	外部講師による講義等も含め、年度ごとにテーマを設定。新規採用者も含め全職職が参加
保育基礎研修	新人～5年目以内の者・年1回(年度途中でフォロー)	各園の主任・主幹が講師となり、①心得・マナー②平常保育③記録等の3つのテーマを設定した研修会の実施
乳児保育研修(①初級/②上級)	①新人及び乳児担当者 ②幹部職員	乳児、1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらいと内容、この時期の重要性、保育の実施にあたり留意すべき事項等を獲得する
スイミング研修	新人及び2～3年目の者/年1回	実技等を通して、初級レベルの指導方法や安全基準について学ぶ
リズム研修	①新人及び乳児担当者 ②幼児担当者	子どもへのリズム指導のスキルアップを目的として実施(実施回数未定)
部下指導研修	中堅/年1回	部下指導を目的としたコミュニケーションの手法等について学ぶ
障がい児研修	中堅・担当者等/年1回	ココリスと連携し、障がい児の個々のニーズに対応できる専門的知識・対応方法等を獲得する
公開保育	担当園が開催/年1回	法人内の担当園が主催し、保育の見学及び情報交換を実施。自園の保育を見直す機会とする
子育て支援対策委員会	各園子育て支援担当者/年4回	各園の地域子育て支援事業の充実のため情報共有、協働活動を実施。地域の子育て中の家庭に対する情報発信のための通信の発行
給食担当者会議	給食担当者/年4回	子どもへの食事の提供の充実のため献立の共有や試食会の実施、給食担当者の衛生管理体制の確認及び業務の効率化の検討等を行う
主任・主幹会議	主任・主幹/年6回程度	保育部門の育成体制の構築に係る事項や各園の安全計画や事故報告の共有等、リスクマネジメント体制の整備に向けての検討を進める
園長検討会	全園長/年3回程度	管理者として園の運営に必要な情報共有を図り、改善に向けた検討を行う

0歳児～3歳未満児の成長を明確に捉えよ! 若手スタッフ38名、中堅・幹部41名参加

階層別乳児研修

平成30年度研修報告（保育）

月	研修名	対象
4月	主任・主幹会議①	指導者
	子育て支援対策委員会①	担当者
	主任・主幹会議②③	指導者
	保育基礎研修	初任者
5月	スイミング研修	初任者
	給食担当者会議①	担当者
	子育て支援対策委員会②	担当者
	リズム研修	初任者
6月	人権研修	初任者
	主任・主幹会議④	指導者
	体育遊び・リズム遊び	全職職
	主任・主幹会議⑤	指導者
10月	給食担当者会議②	担当者
	子育て支援対策委員会③	担当者
	感染症マニュアル検討会①	担当者
	主任・主幹会議⑥	指導者
11月	公開保育(きりん夜間愛育園)	園長指導者
	3法人合同研修会	園長指導者
	感染症マニュアル検討会②	担当者
	主任・主幹会議⑦	指導者
1月	給食担当者会議③	担当者
	子育て支援対策委員④	担当者
	給食試食会	担当者
	主任・主幹会議⑧	指導者
2月	給食試食会	担当者
	主任・主幹会議⑨	指導者
3月	感染症マニュアル検討会③	担当者
	愛育園合同研修会	全職職

保育部門は大方美香氏(大阪総合保育大学 学長)を講師に招き、「保育所保育指針」の改定(2018年4月1日施行)で明確に位置づけられた「乳児(0歳児)保育」「1歳以上3歳未満児の保育」の重要性やポイントをテーマに階層別の乳児研修を実施しました。研修はきりん夜間愛育園1階ホールを会場に、6月5日が若手スタッフ層対象で38名、7月1日が中堅・幹部スタッフ層対象で41名がそれぞれ参加。若手スタッフ対象の研修では、子どもの成長の捉え方、成長を促す関わり・働きかけ方、子育てと仕事を両立させている保護者の現状に配慮した連絡帳の書き方など、わかりやすく講義。中堅・幹部対象では、ライフスタイルの変化に応じた子どもへの働きかけ方や子育ての不安や課題を抱える保護者への支援、若手スタッフへのアプローチなど多方面から講義

令和元年度事業計画 各施設の地域貢献事業をより活性化、公益的な取り組みの展開を図る

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- (1) 財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)
 - ① 法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析
より多くのニーズに対応できる体制のもと、新たな事業展開にも効果的・効率的に即時対応できるよう各事業の経営状況を把握し、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る(経営企画会議の運営)
 - ② 会計監査人や行政などの法定監査受審による、適正かつ継続的な改善を担保する組織 強化
 - ③ 監事監査を含む内部管理体制の見直し
- (2) 人事・給与管理体制等の強化
 - ① 各部門における人事・給与に関する情報処理の高度化を図るためのシステムの整備検討
 - ② 高齢者部門施設長評価の継続実施(2017年度施行)
- (3) 業務の効率化に向けた体制の検討
 - ① 各部門におけるICT化の推進に向けた検討(パソコンの一括発注)
 - ② 法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
 - ③ TV会議システムの導入による業務の効率化の検討
- (4) 適正な情報開示による経営の透明性の確保
 - ① ホームページによる情報開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等)
 - ② 法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による法人情報の公開(事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表)
 - ③ 第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
 - ④ 経営協 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示(法人概要、公益的 取り組み等の実施状況、財務情報報告)
 - ⑤ その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等
- (5) 法人本部体制の強化
 - ① 人員配置等の継続的見直し
 - ② 社会福祉法改正に伴う体制整備として、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」に取組みことにより、ご利用者や地域の人々に対する説明責任を果たし、地域に貢献できる法人の在り方を追求する

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- (1) 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知)
- (2) 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開
 - ① 個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、サービスの質の向上を常に念頭に置いた体制の整備
 - ② 変化するニーズ及びその人の可能性を伸ばす福祉サービスを展開する
- (3) 研修・マニュアル等の内容を見直し、より専門性の高いサービスを展開する
- (4) サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
 - ① 実施状況や受審に向けた体制確認及び結果・改善計画等の情報整理及び検証
 - ② 防犯体制や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画の立案検討ができる組織体制の整備
 - ③ 各園・施設の現状に応じた体制を構築できるよう計画の策定状況等の確認を実施

3. 人財確保と育成・定着

- 人財確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開
- (1) 人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた体制を整備し、労働環境改善のための活動を展開することにより人財の確保・定着につなげる
- (2) 法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる
 - ① 人財確保に有効なホームページ・ネット・パンフレット等を活用した求人活動
 - ② 各園・施設及び法人のホームページ内の採用情報をはじめとする掲載内容の見直し
 - ③ 各園・施設のホームページの管理体制の見直し、定期的な更新を行える体制づくり
 - ④ その他求人に関わるツール、求職者への情報提供内容の見直し
- (3) 優秀な実習生等を雇用へとつなげる取り組み
 - ① 実習生に対するアンケート調査の実施(採用へつなげるための情報収集及び実習の満足度調査)
- (4) 各種関係機関との関係構築
 - ① 関係構築を目的とした学校訪問
 - ② 学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加
 - ③ 施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- (5) 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
 - ① キャリアパス・ステップアップを明確化できる研修・組織体制の見直し
・神戸大学名誉教授による研修・研究・人財確保に関する助言に基づいた体制の見直し検討
・各部門における幹部職層を対象とした法人幹部研修の企画
 - ② 法人理念・経営方針・大切にしたい想い・求めるスタッフ像(「和顔愛語」)の全スタッフへの周知体制の強化
 - ③ 高齢者部門における外国人労働者への受入・育成体制の整備

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる展開を図る
- (1) 地域の福祉ニーズへの対応
 - ① 全園・全施設における地域公益活動の充実、更なる展開
 - ② 地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
- ③ 生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への拠出
大阪:「大阪いあわせネットワーク」
京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
- (2) 災害発生時の支援体制として、福祉避難所の整備と物資の備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進する
- (3) 各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開

平成30年度 事業報告 福祉サービスの充実と質確保に努め、非常災害時の対応を見直す

社会福祉法人 成光苑では、平成30年度は、社会福祉法として法整備されたものを柱立てにして、社会福祉法人としての役割と責務を果たすべく、确实、効果的かつ適正な法人運営を心がけ、安定した事業経営を展開するとともに、公益性の確保と提供する福祉サービスの充実と質の確保に努め、地域における公益的な取組を実践した。とりわけ、30年度は大阪・京都地域においても、大阪北部地震や台風によ

る大きな風水害を受けたことから、既存の招集体制や備蓄の見直し等、非常災害時の対応について、改めて実態に即した見直しを進めた1年となった。

これらの事項も含め、法人・施設(保育部門・高齢者部門・障がい部門)において実行すべき計画として予定した事業は、ほぼ計画どおり実施した。

1. 确实、効果的かつ適正な事業経営

- (1) 財務管理の体制強化**
 - ①法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析
 - ・より多くのニーズに対応できる体制のもと、新たな事業展開にも対応できるよう各事業の経営状況を把握し、収支バランスを安定させ、持続可能な事業運営を図った。
 - ②会計監査人などの法定監査受審による、適正かつ継続的な改善を担保する監査事務の改善など組織強化を図った。
 - ③監事監査を含む内部管理体制の見直し
 - ・会計監査人との連携による更なる監査の精度向上に努めた。
- (2) 人事・給与管理体制等の強化**
 - ①各部門における人事・給与に関する情報の集約と検討体制の整備
 - ・法人全体の人事給与管理の情報の高度化により、効果的効率的な運用を目指し、人事管理ソフトの導入を検討、決定済み。平成31年度中に導入・運用予定。
 - ②高齢者部門施設長評価の継続実施(平成30年度施行)
 - ③保育部門における園長等を対象とした理事長面談の実施
- (3) 業務の効率化に向けた体制の検討**
 - ①各部門におけるICT化の推進に向けた検討
 - ・高齢者部門におけるTV会議による幹部会議を試行実施
 - ②法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
- (4) 適正な情報開示**
 - ①ホームページによる情報開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等)
 - ②法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による法人情報の公開(事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表)
 - ③第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
 - ④経営協 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示
 - ・法人概要、公益的 取り組み等の実施状況、財務情報報告)
 - ⑤その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等
- (5) 法人本部体制の強化**
 - ①人員配置等の継続的見直し
 - ②社会福祉法改正に伴う体制整備として、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」に取組みことにより、ご利用者や地域の人々に対する説明責任を果たし、地域に貢献できる法人の在り方を追求した。

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- (1) 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知)**
- (2) 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開**
 - ①個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、サービスの質の向上を常に念頭に置いた体制の整備
 - ②変化するニーズ及びその人の可能性を伸ばす福祉サービスを展開する
- (3) 研修・マニュアル等の内容を見直し、より専門性の高いサービスを展開する**
- (4) サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備**
 - ①各部門における実施状況や受審に向けた体制確認及び結果・改善計画等の情報整理及び検証
 - ・高齢者部門における2015規格に対応したISOシステムに基づく内部監査(年2回)及び自主点検による自己チェック(年1回)を実施。
 - ②保育部門において、第三者評価受審に向け、法人全体で勉強会を実施し、各園で体制を構築。全園受審完了。
 - ③防犯体制や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画の立案検討ができる組織体制の構築
 - ・各園、各施設の現状に応じた体制を構築できるよう計画の策定及び非常災害時に備えた避難訓練等の実施等
 - ④各園・施設の現状に応じた体制を構築できるよう計画の策定状況等の確認を実施
- (5) 各部門における顧客満足度調査の実施**

3. 人財確保と育成・定着

<人財確保活動結果>

○採用者数
(平成30年4月1日～平成31年3月31日の新規及び復職等の直接雇用。一般は新卒以外の採用者)

	四大卒	短大・専門卒	高 卒	一 般	合 計
保育部門	4	6	0	37	47
高齢者部門	5	9	0	53	67
障がい部門	0	0	0	2	2
合 計	9	15	0	92	116

- (1) 処遇・労働環境の改善**
 - ①人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善策を講じるなど、全スタッフの労働環境改善のための活動を展開することにより人財確保・育成定着に努めた。
 - ②部門別に離職率の算出(4/2～3/31離職者÷4/1職員数)。高齢者・障がい部門は、前年度比+0.4%、保育部門は、前年度比-0.6%の結果となった。
- (2) 法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる**
 - ①求職者に対する魅力発信できる内容の精査を行い、得られたコンテンツを以下のとおりホームページ等で情報発信に心がけた。
 - ・人財確保に有効なホームページ・ネット・パンフレット等を活用した求人活動
 - ・採用ページ(法人)の最新情報及びびックスのブログ化し、育成体制に関する情報も発信
 - ②採用に関する情報(就職フェア、採用試験、ボランティア活動、研修等人材育成)のアップ
 - ③各園・施設のホームページの管理体制の見直し、定期的な更新を行える体制づくり
 - ④その他求人に関わるツール、求職者への情報提供内容の見直し
- (3) 優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み**
 - ①実習生に対するアンケート調査の実施(採用へつなげるための情報収集及び実習の満足度調査)
 - ②採用へつなげるための情報収集及び実習の満足度調査結果を踏まえ、人財確保に努めた。
- (4) 各種関係機関との関係構築(年間計画に基づき、法人スタッフの連携で取組を実施した)**
 - ①関係構築を目的とした学校訪問及び授業へのゲストスピーカーとしての派遣参加
 - ②学内フェア(卒業生参加)も含めた各種就職フェア(若手現場スタッフ含む)への参加
 - ③施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
 - ④社会福祉協議会が主催する、福祉の仕事魅力発信セミナーへの派遣参加
- (5) 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化**
 - ①キャリアパス・ステップアップを明確化できる研修・組織体制の見直し
 - ②法人理念・経営方針・大切にしたい、想い・求めるスタッフ像(「和顔愛語」)の全スタッフへの周知体制の強化
 - ③高齢者部門における外国人労働者への受入・育成体制の整備

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- (1) 全園・全施設における地域公益活動の充実、更なる展開**
- (2) 地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化**
- (3) 生活困窮者への支援体制の整備及び基金への拠出**
 - ①大阪：「大阪しあわせネットワーク」/京都：京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画
- (4) 災害発生時への支援体制の整備として、福祉避難所としての備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動の推進**
 - ①西日本豪雨の被災地へ京都DWATメンバーを1名派遣
- (5) 各施設における総合相談窓口設置について地域等への周知方法の再検討**
 - ①CSW、スマイルサポーターの配置

ファーストステージ 研修Ⅰ、Ⅱ

新人スタッフ対象

研修Ⅰは地域別研修(大阪エリア、京都エリア)を実施し、研修Ⅱは、大阪3施設(吹田、池田、豊中)の会場で、新人スタッフを対象に、基礎的な知識や技術を講義し、現場での体験や困難事例などを交えた研修です。



研修Ⅰは、大阪3施設(吹田、池田、豊中)の会場で、新人スタッフを対象に、基礎的な知識や技術を講義し、現場での体験や困難事例などを交えた研修です。

研修Ⅱは、大阪3施設(吹田、池田、豊中)の会場で、新人スタッフを対象に、基礎的な知識や技術を講義し、現場での体験や困難事例などを交えた研修です。

5法人合同研修会

京舞妓さんの人材育成は! 被災地派遣職員の体験談も 「人材育成」「災害対策」テーマに

第34回5法人合同研修会(大阪自強館、こうほうえん、クムレ、青山里会、成光苑)が5月16、17の両日、京都タワーホテルで開かれ、84名が参加、「人材育成」「災害対策」の2大テーマをめぐり報告や講演、活発な意見交換が行われられました。幹事法人は成光苑。

「人材育成」(初日)では、京都府が全国で初めて創設した「ききょう福祉人材育成認定制度」について、サンヒルズ紫豊館の田崎明彦施設部長が経過説明を行いました。成光苑の京都地区高齢者部門3施設(岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、ライフ・ステージ舞夢)は昨年11月に「上位認証」を受けています。(「ききょう」2019新年号参照)

また、京都女子大学現代社会学部教授の西尾久美子氏が「京のおもてなし 花街での人材育成」をテーマに、舞妓さん育成の仕組みを解説、伝統文化継承の苦勞を指摘されました。

「災害対策」(2日目は「京都DWAT」(「ききょう」2018秋号参照)について成光苑から岩戸ホームの達脇博人総合部長が活動状況を報告、ライフ・ステージ 舞夢の山本幸一郎事業部長が「緊急時の防災体制」、一津屋愛育園の川原智美副主幹保育教諭が「防災への備え」と題しそれぞれ発表。西日本豪雨など災害に派遣参加したスタッフの体験談もあり、聞き入る参加者も真剣さがうかがえました。



大妻 美予
吹田電ヶ池ホーム
2019年度入社

職場体験で心に響いた「ありがとう」 私の介護の3Kは「期待・希望・感動」です

私が介護職を目指すきっかけとなったのは中学時代の職場体験で「ありがとう」と言ってもらったことが心に響いたからです。大阪市内で唯一福祉課のある高校へ進学し、入社4ヶ月目です。

私にとっての介護の3Kは「期待・希望・感動」とポジティブに考えています。経験不足もあり正直しんどい時もありますが、ご利用者の笑顔や優しい言葉は最高のやりがいです。先輩をサポートしてもらいながら、もっと専門的な知識や介護技術を身につけ、多くのご利用者や信頼関係を築いていきたいと思っています。

令和元年度研修計画(高齢者・障がい者)

人事考課システムと連動した階層別研修(下表参照)を実施するとともに、ファーストステージプログラムについては、現場のOJTや新任スタッフの現状を鑑み、より使いやすいわかりやすい内容へと見直しを進める。また、研修実施後の理解度調査シートについては、項目を絞った内容に改定し、講師へのフィードバックと今後の研修内容の展開に活用することとしている。

研修名	対象者/回数	内 容
ファーストステージ研修I-II	入社1年未満の新任職員 ※I:①主に新卒者 ⇒4月当初に実施 ②中途採用者対象 ⇒10月頃実施 ※II:年3～4回地域別	・研修Ⅰ：求められる人財像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・研修Ⅱ：法人の仕組み、活動の基礎、人権擁護、リスクマネジメント等
ファーストステージ研修III	ファーストステージ研修I-IIの受講者 ※III:各施設で設定	研修Ⅲ：各施設内組織図と役割、ルール、備品や機器の使い方、手順等の説明 ・1年間の振り返りと2年目へのステップアップ
ネクストステージ研修I	新任スタッフを主に育成・サポート・評価する者	・新任職員を指導するための教授法 ・部下指導のためのコミュニケーションスキル ・新任職員研修プログラムの使い方等
ネクストステージ研修II	OJTに関わり6ヶ月過ぎたチューター(1日)	・チューターとしての課題抽出とステップアップ ・モチベーションアップのための講義
キャリアアップステージ研修I～III	※I:1～3等級 ※II:4～6等級 ※III:M1～M3等級	・3段階の階層に区分し、インバスケットの手法を用いて各等級に求められている知識等の習得 ・仕事の優先順位を考え状況対応能力の向上 ・研修Ⅲについて、管理的スタッフとして必要なマネジメント能力をはじめとする知識・識見の習得

「グローバル初任者研修」をアピール

「FMまいる」(FM57.5MHz「ななこ」)から話が持ち込まれ「ななこちやつたラジオ」(火曜パーソナリティ・ムジカマキナさん、6月25日)にライフ・ステージ舞夢の井上雅弘在宅ケアマネジャーが出演、グローバル初任者研修講座(7月13日開講)11月3日閉講のPRを行いました。

当日朝になって同ケアマネジャーは、スタジオではなく舞鶴市内の商業施設特設会場での公開放送と知らされたそうです。多くの聴衆の前でやや緊張気味ながら「外国出身の方でも介護資格があれば労働力としてのニーズが高まると思います。土日を利用して学べるので一緒に頑張りませんか」と語りかけました。



FM57.5MHz「ななこ」 ライフ・ステージ 舞夢の井上在宅ケアマネジャー

グローバル初任者研修は在日外国人のみならず、在日外国人にも介護技術を身につけてもらい、地域介護を支えるスタッフ育成が目的。今回の講座には7名の受講希望があり、同施設の20歳代と70歳代の介護スタッフも公休日を利用して受講することにしています。70歳代の介護スタッフは「専門的な知識をもっと身につけ、気力と体力が続く限り働きたい」という強い思いから受講を決心されたそうです。

「出張子育て」支援

認定こども園 一津屋愛育園

地域の「あんふあんクラブ」で おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせ

認定こども園一津屋愛育園は味生公民館(摂津市一津屋)で開かれている地域の子育てサロン「あんふあんクラブ」(味生校区福祉委員会主催)のお手伝いをして

います。子育て支援事業の一環です。「あんふあんクラブ」は毎月第1水曜日午前10時半から、赤ちゃんから就園前の親子が対象です。同園の子育て支援担当者が参加し、おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせなどを行います。

7月3日には川原智美副主幹保育教諭、西原希望保育教諭が参加。その日は七夕のイベントが行われたこともあり、その続きで60名もの親子連れで大賑わい。歌(かたつむり、七夕様)や体操(サンサンたいそう)、パネルシアターで手遊び(グーッとにぎってとんとんとん)、ふれあい遊び(もちつきぺったん)などで盛り上がりました。

同クラブは親子で楽しむのはもちろん、地域の親子同士の交流の機会にもなっています。参加予約は不要、ぜひお越しください。



くるみ愛育園は子育て支援事業としてこれまで「園庭開放」(毎月第4火曜)を行ってきましたが、4月から地域の高齢者との子育て中の親子と世代間交流を目的とする「ふれあい広場」に衣替えし新たにスタートしました。

PRポスターを作成、同園や町内の掲示板でお知らせし、小路サロン「くわゆる」に集まれる高齢者の方にも配布。4、5月はあいにく雨の影響で中止となりましたが、6月25日が初日、親子連れ5組、町会長、高齢者2名が参加されました。

園舎向かいにある別棟の庭や縁側で水遊びに興じたあと、強い日差しと高温を避けて同棟内の「絵本のえんがわ」へ移動、アイスコーヒータンや冷たいお茶などで服、高齢者の方が語り始められると、子どものお母さんもうなずかれ、楽しそうな笑い声、元気が走り回る子どもたちも、地域の憩いの場となることが期待されます。

子育て親子と高齢者の憩いの場に くるみ愛育園が「ふれあい広場」スタート

吹田電ヶ池ホームを訪ね世代間交流

「季節の歌」や ピアニカ演奏で和やかに

きりん夜間愛育園児

きりん夜間愛育園の2歳児から5歳児まで12名の園児が6月4日、成光苑グループの吹田電ヶ池ホームを訪問、ご利用者のみなさんと季節の歌をうたったり、ふれあい遊びを楽しみました。世代間交流の一環です。季節の歌では「かたつむり」や「汽車」などご利用者と一緒に唄ってくださり、5歳児はピアノ演奏を披露しました。ご利用者から「お歌上手ね!」と声をかけられ握手攻め。初めは緊張気味の園児たちも温かい歓迎ぶりにすっかりリラックス、和やかな時間を過ごすことができました。



平成30年度地域貢献活動報告

- 【地域の親子サークル活動を支援】
【保健師などと連携した妊婦支援】
【外国籍の子どもらとの異文化交流】
【被災時の緊急一時避難所に指定】
【相談援助活動へのスタッフ派遣】
【訪問授業・サポーターキッズ養成】
【地域の在日外国人支援の体制整備】
【地域との総合防災訓練・防災協定】

Table with 2 main columns: 高齢者部門 and 保育部門. It details various community contribution activities, including disaster preparedness, elderly support, and childcare services.

岩戸ホームの日和在宅ケアマネジャー

福知山市立金谷小学校から岩戸ホームに授業の講師依頼があり、日和民永在宅ケアマネジャーが6月20日、同校で全校生徒11名(4年生1名、5年生4名、6年生6名)を対象に80分間の授業を行いました。

回想法

思い出の「昔のお菓子」は? 大阪人間科学大ゼミ生が体験学習

大阪人間科学大学 人間科学部医療福祉学科准教授の杉原久仁子氏(専門)

認知症など)と6名のゼミ生がきりんデイサービスセンターに来所され、6月13日と27日の2回シリーズで「回想法」の体験学習会を行いました。同所は認知症対応型デイサービスセンターです。

きりんデイサービスセンター

者のコミュニケーションから始まり、引き続き「昔の遊び」をテーマに同所スタッフによる回想法の実際を見学。2回目には学生がメインとなり「昔のお菓子」をテーマに回想法を実践。お菓子の写真や実物を見たご利用者から「あった! あった! よく食べたわ!」それは知らんなあ!」といった声があがり会話が弾みま

女性にスポット! 恒例の「元気祭り」

高槻けやきの郷

高槻けやきの郷で5月11日、地域福祉推進会議が企画する恒例の「元気祭り」が行われ、健康に関する福祉用具メーカーの展示や講座を開き62名余りの方が参加されました。

「地域の方の健康の一端を担えれば」と始まった「元気祭り」は6回目。とくに今年は「女性」にスポットをあて、ネイルやお化粧品ワンポイントアドバイス、ハンドマッサージ体験などのコーナーを設けました。おしゃれに気を配る高齢者は化粧への関心も高く、肌や表情の変化に合った自然な化粧の方法を知っておきたいという思いが強い。お化粧品は前向きな気持ちをもたらし、心身を元気にする効果も望めるといわれています。「顔色が明るくなったわ!」「指先がきれいになると気持ちも楽しくなるねえ」といった声もあがり好評でした。

ネイルやお化粧品ワンポイントアドバイス

「介護」テーマに訪問授業

金谷小学校に スタッフを派遣



福知山市立金谷小学校から岩戸ホームに授業の講師依頼があり、日和民永在宅ケアマネジャーが6月20日、同校で全校生徒11名(4年生1名、5年生4名、6年生6名)を対象に80分間の授業を行いました。

「福祉施設入居者の生活の様子」「福祉施設で働く人の思いや願い」



初回は、学生とご利用